

小平市教育委員会 様

学校名	小平市立上水中学校	----- 印 -----
校長氏名	市川 順 康	

令和7年度教育課程について(届)

このことについて、小平市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

- 人間尊重の精神を基調とし、知性、感性、道徳心や体力を育み、生涯を通じ主体的に学び、社会に貢献できる人間性豊かな生徒の育成を目指し、教育目標を次のように定める。
 - 自ら考え、進んで実行する人
 - 心豊かで思いやりのある人
 - 心身ともにたくましい人

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

教育目標を具現化するために以下の基本方針を定める。

ア 確かな学力の育成

- 生徒が自ら学び、考えを深め、実践に移す力を身に付けさせるために、基礎・基本の定着に重点を置きながら、問題解決型学習（生徒に調べさせ、考えさせ、討議させ、発表などを行わせ、その活動を振り返らせる）の実践に努め、授業改善を確実に進める。
- すべての生徒に多様な学びの場を設定し、家庭との連携の下、学習習慣を身に付けさせ、自立した生徒を育成する。
- 少人数授業や個別学習を通して苦手科目にも積極的に取り組ませ、生徒の学力向上を図る。
- 令和3・4年度の研究推進校として取り組んだ「ICTを活用した授業改善・指導の充実」の成果を生かし、また新たな課題に対処する継続した取組により学力向上を図る。

イ 豊かな心の育成と健やかな体の育成

- 道徳科の授業をより充実させ、道徳科を要とした教育活動全体を通して、自他共に大切にできる心や、相手の立場に立って行動できる態度を身に付けさせる。加えて高い規範意識の育成に努め、互いに人格を認め合う姿勢を育み、いじめのない学びの場を構築する。
- 保健体育の授業や昼休みにおける運動量を一層確保して、体力を向上させる。また、薬の教室、SOSの出し方に関する教育など保健分野の授業の充実を図る。

ウ 特別支援教育の推進

- こだいら共通プログラムを踏まえた上で、特別支援教育を柱とした教育活動を実践する。また、小平第三小学校と連携を深め、一貫性・継続性を重視した教育の実践に努めるとともに、学習者用端末をはじめICT機器の効果的な活用、特別活動の時間についての連携も図る。

エ キャリア教育の推進

- 学級活動を要としながら、学校教育全体を通して一人一人のキャリア形成と自己実現を促す。
- 学区内の全小学校との連携を図るため、キャリア・パスポートを活用する等、学校段階間の円滑な接続を目指す。